



# 星川だより



## 熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

### 講演会のご案内

#### 熊谷空襲とアウシュヴィッツ

米田主美

四月十六日荒川公民館で「熊谷空襲とアウシュヴィッツ」を演題にイベントを企画しました。

作家の野村路子さんと詩人の中原道夫さんをゲストにお迎えしています。

野村路子さんは、著書『レジンレジンの小さな画家たち』でナチスの強制収容所に送り込まれ、ガス室に入れられる前の子どもたちが描いた絵を紹介して当時の子供達の悲劇を伝えようとこれまで、アウシュヴィッツを十五回ほど訪問しています。アウシュヴィッツ解放七十年記念式典には日本の民間人で唯一人招待されました。また、全国講演をする中で八木橋デパートの依頼が第一回目だったそうです。

野村さんが今回の講演に当たってメッセージをくださいましたので紹介します。

「私は、アウシュヴィッツもテレビジョンも『過去にこんなにひどいことがあります』と、歴史上の出来事のように話すこ

とも書くことありません。ヒロシマもナガサキも東京もテレビジョンもアウシュヴィッツも、そしてその後のヴェトナムも、イスラエルもアフガニスタンも、今のシリアも、みんなみんな、人間が勝手な欲望のために起こした戦争というものの愚かな出来事であり、何の責任もない女性や子どもや老人の命を奪うという結果をもたらした。それを知ってほしい、そして二度と同じ過ちを繰り返してほしくないと思っているのです。そのために私自身はたまに知ることできたアウシュヴィッツやテレビジョンを取り上げて語っているだけのことだと思っています。私の中で、熊谷もアウシュヴィッツも同じことなのです。」と。

中原道夫さんは著作も大変多い方で日本及び埼玉の詩人界の重鎮です。今回、野村さんたちとアウシュヴィッツへ行きました。

中原さんの旅のメッセージも紹介します。

「第一収容所は、一九四〇年に開設された強制収容所で、入り口に『働けば自由になれる』という文字が掲げられていて、そこに立っていると、なぜか自分もここに囚われているので

はないか、というような言い知れぬ不安を感じたりもした。(中略)建物の中に入ると、犠牲者の残した遺品の山がガラス張りの展示室に堆く積み上げられている。小さな赤ちゃんの洋服、壊れた人形の数々、トラウマの山、数え切れないほどの靴の山などに、やはりここが非道極まりないナチスの収容所であったことを再認識する。中でもぼくの心を強く突き刺したのは、惨殺された女性たちの髪の毛の山であった。

じつと見ていると、ブロンドの髪の毛や、金髪の毛の毛が、舞い上がり、涙しながらウィンドーを飛び越え、ぼくの心の中に飛来してくるあちらこちらから悔しさと憎しみが嗚咽となつて聞こえてくる。」

中原さんは旅の衝撃を詩にしていますので当日詩の朗読をお聞きください。

若い人にぜひ、来て聞いていただきたいイベントです。

### 映画「スノーデン」を観て

東 英明

アメリカ政府の監視システムを告発したスノーデンについてのはうる覚えの記憶しかな



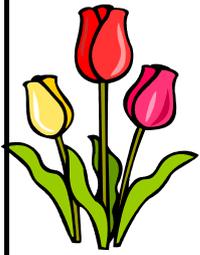
「スノーデン」のオリバー・ストーン監督によると「将来的に日本がアメリカの同盟国でなくなったときのために、スパイプログラムをダム、駅、発電所、銀行などに組み込んでいた。いざとなれば機能停止に追い込めます。」とスノーデンが言ったというので驚いて映画を観に行った。

映画は、二〇一三年六月に香港でスノーデンがジャーナリストに秘密裏に会う緊迫した場面から始まる。そこから遡って二〇〇四年に彼が祖国に貢献しようとする軍隊に入り、怪我のため除隊した後にCIAやNSA(米国家安全保障局)のスタッフとして働いてきた経緯や、恋人との生活を描いている。

第二次大戦後、アメリカ政府が「エシユロン」のような監視のシステムを作り上げて利用していることは聞いていた。インターネットの利用が進み、大

容量の情報を扱う技術が発展した現在、監視は急激に拡大しているのだろう。有名なインターネット関連企業が監視に協力していると聞いて驚く。特定の個人だけを対象にするのではなく、すべての人を対象にメールや通話などの情報を集めている。そればかりでなく、遠隔でパソコンのカメラを起動し、監視カメラにすることができるといふ。観終わって気味が悪くなった私は、自分のパソコンのカメラを紙で覆った。

映画の中でスノーデンがSDカードが何かで情報を盗み出す場面があり、それはあり得ないと思っただが、映画パンフレットによると創作のようだ。ドキュメンタリー映画ではないので、描かれている内容が事実かどうかは確認を要する。スノーデンがNSAで働いていた時よりもさらに監視は進化しているだろう。怖いと思っただは、自分の周りでもここまで監視が進んでいるか分からないことだ。映画館に入る前はなんともなかった周囲の風景が、出たときには違って見えた。



### 東京の空の下

清水貴子

緑の生け垣 大きな木の街路樹  
幅広い道路に 風が快く吹いている  
気温三十八度になる熊谷に比べると  
とても涼しい国会議事堂前  
このような静かで涼しい

気持ちのよい場所で 歴史が決まっていく

生け垣に沿い 静かにポスターを持ち

掲げている高齢者ご夫妻

一人で地下鉄を乗り換えて

やつと着いたと話された女性

少しでもポスターを高く掲げるため

ハイヒールを履いてきたという若い女性

定年退職して時間があるので

ここで座り続けられますと話す男性

自分の思いから 静かに行動している人々に会った

急に黒塗りの大きなセダンが行き交い始めた

議員たちの出入りが激しい

議事堂内では委員会が桂境だ

強行採決の知らせが流れた

雨がシトシト降る日曜日

国会議事堂を目指し歩いて行くと

自分の意志 自分の考えや思いを

伝える来る 老若男女 乳母車を押す

家族連れ 車いすの一人

それはそれはどこかのスーパーに行くように

国会議事堂に歩いて行く

ラップ調で呼びかけ 反復する声が響きわたる

戦争を招いてはいけない

憲法9条を守ろうと



### ～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお祈りします。  
なお、会計報告はこの紙面により行います。

#### ゆうちょ銀行

口座記号・記号:00100-7-265321

加入者名:熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ:クマガヤクウシュウワス  
レナイシミンノカイ

#### 他行からの振り込みの場合は

店名(店番):0一九店(019)

預金種目:当座

口座番号:0265321

#### 会計報告(2016/12/15~2017/02/23)

収入:3,000円

支出:20,231円

残高:81,597円

編集担当者を募集します。

編集委員 吉田庄一 米田主美

連絡先 吉田庄一

携帯 090-4957-9181

メール imajn241@gmail.com

熊谷空襲を忘れない市民の会主催

### 「熊谷空襲とアウシュヴィッツ」

●4月16日(日)13時30分開場 14時~16時

●会場 荒川公民会3階ホール

●チケット 800円(当日1000円)

大学生・障がい者・介助者 半額、高校生以下 無料

●後援 熊谷市 熊谷市教育委員会

埼玉の作家 野村路子さんと

詩人 中原道夫さんが熱く語る!



### 3.11 企画

熊谷空襲を忘れない市民の会は賛同団体です

●「第3回さよなら原発こんにちば自然エネルギー@北埼玉の集い」

3月11日(土) 小川町役場広場&リリックおがわ

屋内会場 11時開始 ステージ 13時開始 パレード 15時出発

●映画「太陽の蓋」深谷上映会

日時:3月10/11/12日の3日間、10時・14時・18時1日3回上映

場所:深谷市 セツ梅「藝術精米所」ミニホール

料金:一般前売り1000円(当日1200円)高校生以下・障がい者 半額



### 「俳人 金子兜太さん『戦争と平和』を語る」

日時:3月26日(日) 14時~16時30分

開場:熊谷市荒川公民館3階ホール

主催:9条の会・熊谷 協力金:500円

後援:熊谷市 熊谷市教育委員会 埼玉新聞社

内容:1部 バンド演奏

ザ☆クンパクンパ

2部 講演 金子兜太さん

インタビュアー 佐藤達哉さん